

「GSカルテックス社とのキャパシタ用炭素材の共同事業化」に関する検討開始

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、この度、GSカルテックス社(本社:大韓民国ソウル市 会長:許東秀)と、大韓民国 慶尚北道 亀尾市でのキャパシタ用炭素材の共同事業化(生産設備の建設・操業)に関して、FS(フィージビリティースタディ※)開始を決定しましたので、お知らせいたします。

キャパシタとは、急速な電気の出し入れを行うのに優れた蓄電デバイス(電気を溜める機器)で、瞬間的に多くのエネルギーを必要とする建設機械や鉄道などの電力回生に適しており、材料に重金属等を含まないため環境に優しい製品です。また、エネルギーの有効利用を目的として、発電が不安定な太陽光発電や風力発電の蓄電向けへの用途拡大も期待されています。

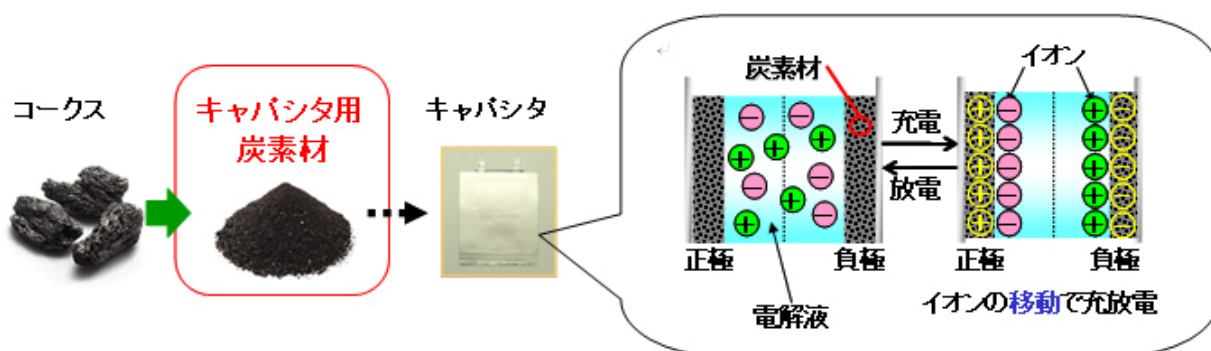
このキャパシタの性能を決める重要な材料が炭素材であります。

当社およびGSカルテックス社は、これまで各々で高性能炭素材の開発を続けてまいりましたが、両社が共同で事業を行うことにより、生産および更なる技術開発において、シナジー効果が得られると判断し、共同事業化へ向けた調査を開始するものです。

当社は「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現に貢献します」のグループ理念のもと、今後も、環境に配慮した技術、商品の開発を積極的に進めてまいります。

※ FS(フィージビリティースタディ):事業性調査

以上



キャパシタの原理